



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,136	9.5	253	△29.8	258	△19.2	160	△29.4
29年3月期第1四半期	1,950	13.0	361	24.9	320	0.6	226	20.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 246百万円 (264.0%) 29年3月期第1四半期 67百万円 (△71.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.04	ー
29年3月期第1四半期	9.96	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	8,318	4,062	48.8	178.76
29年3月期	8,300	4,096	49.4	179.97

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,062百万円 29年3月期 4,096百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		0.00	ー	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,542	12.7	1,134	1.2	1,126	5.1	766	2.5	33.69
通期	9,528	14.0	2,365	11.1	2,342	12.8	1,602	10.7	70.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	24,740,000株	29年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,014,543株	29年3月期	1,980,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	22,743,213株	29年3月期1Q	22,775,307株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国新政権による保護主義的な経済政策、英国のEU離脱問題の不透明感や中東・東アジアの地政学的リスクの高まり等の懸念から、株式市場や為替相場を含めて、不安定な状況となっています。また、我が国経済につきましては、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和策などを背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調にあることから、全体として緩やかに回復する展開となっています。

このような経済情勢の中で、医薬品業界におきましては、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

また、当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験（注）の増加を背景として、市場規模は引き続き緩やかに拡大しております。

このような事業環境の下、当社グループのCRO事業につきましては、日本、アジア、米国、欧州におけるグローバル受託体制の構築を引き続き強力に推し進めた結果、国際共同治験を中心とした受託案件が増加し、売上に貢献いたしました。しかし、利益面においては売上の増加が、先行的な人材投資による人件費の増加及び東京オフィス移転に伴う費用等を吸収しきれず、減益となりました。育薬事業につきましては、新薬販売後の臨床研究を中心とした案件の受託により人員の稼働率が上昇した結果、売上及び利益に貢献することとなりました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,136百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は253百万円（同29.8%減）となりました。経常利益は円安により外貨預金等にて為替差益8百万円が発生したため258百万円（同19.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は160百万円（同29.4%減）となりました。

（注）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国または地域において同時並行的に行うことをいいます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ18百万円（0.2%）増加し、8,318百万円となりました。これは、主に現金及び預金、繰延税金資産等が減少した一方、売掛金、有形固定資産、のれん等が増加したことによるものであります。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ52百万円（1.3%）増加し、4,256百万円となりました。これは、主に未払法人税等、賞与引当金等が減少した一方、短期借入金、未払金等が増加したことによるものであります。

#### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ33百万円（0.8%）減少し、4,062百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が増加した一方、利益剰余金の減少と自己株式が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCRO、CSOとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成30年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年5月15日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。育薬事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成29年3月期末の受注残高に比べ平成29年8月14日時点の受注残高は1.5%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたものの、これを上回る受託案件の新規契約があったことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は良好であり、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、CRA（注）の増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

（注）CRA（Clinical Research Associate）とは、臨床開発モニターと訳されます。医薬品開発段階での治験が、薬機法その他の関連法令及び治験実施計画書を遵守して行われているかどうかを監視（モニタリング）する担当者のことをいいます。

表. 受注残高の推移

（単位：百万円）

		平成29年 3月期末 (A)	平成30年3月期		増減率% (B-A)/A
			第1四半期末	平成29年8月 14日時点 (B)	
受注残高		13,457	15,749	15,846	17.8
内訳	中外製薬	3,142	3,990	3,849	22.5
	小野薬品工業	2,723	3,273	3,710	36.2
	エーザイ	1,079	1,887	1,813	68.0
	武田薬品工業 グループ	713	619	588	△17.6
	その他	5,798	5,978	5,884	1.5

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,354,914	4,138,811
売掛金	1,261,388	1,299,058
前払費用	107,967	104,975
繰延税金資産	67,673	38,060
立替金	305,617	343,233
その他	115,402	139,101
貸倒引当金	△185	△242
流動資産合計	6,212,779	6,062,999
固定資産		
有形固定資産	73,688	118,800
無形固定資産		
のれん	1,050,387	1,097,626
その他	212,881	227,496
無形固定資産合計	1,263,268	1,325,123
投資その他の資産		
差入保証金	546,994	575,604
その他	203,428	236,294
投資その他の資産合計	750,422	811,899
固定資産合計	2,087,379	2,255,822
資産合計	8,300,159	8,318,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	225,000
1年内返済予定の長期借入金	139,968	139,968
未払金	255,626	330,001
未払費用	154,618	153,951
未払法人税等	311,960	117,541
未払消費税等	144,497	108,475
前受金	588,670	630,203
預り金	1,077,377	1,128,973
賞与引当金	152,997	89,088
その他	49,804	21,047
流動負債合計	2,875,521	2,944,250
固定負債		
長期借入金	933,440	898,448
退職給付に係る負債	340,516	358,780
その他	54,502	55,051
固定負債合計	1,328,458	1,312,279
負債合計	4,203,980	4,256,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	4,328,278	4,260,856
自己株式	△349,954	△402,427
株主資本合計	4,265,367	4,145,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	947	1,292
為替換算調整勘定	△165,142	△79,717
退職給付に係る調整累計額	△4,993	△4,756
その他の包括利益累計額合計	△169,188	△83,180
純資産合計	4,096,179	4,062,291
負債純資産合計	8,300,159	8,318,822

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,950,692	2,136,513
売上原価	1,206,019	1,444,343
売上総利益	744,673	692,170
販売費及び一般管理費	383,563	438,542
営業利益	361,109	253,628
営業外収益		
受取利息	183	101
為替差益	—	8,714
その他	65	285
営業外収益合計	248	9,101
営業外費用		
支払利息	1,438	1,131
為替差損	36,369	—
投資有価証券評価損	2,529	2,540
その他	810	245
営業外費用合計	41,147	3,916
経常利益	320,210	258,812
税金等調整前四半期純利益	320,210	258,812
法人税、住民税及び事業税	47,920	66,474
法人税等調整額	45,407	32,162
法人税等合計	93,328	98,636
四半期純利益	226,882	160,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	226,882	160,176



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	226,882	160,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△461	345
為替換算調整勘定	△158,723	85,425
退職給付に係る調整額	△60	237
その他の包括利益合計	△159,245	86,007
四半期包括利益	67,637	246,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,637	246,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。